

答 辞

本日、ここに卒業の日を迎えることができ、修了生一同大変嬉しく思っております。ご多忙の中ご臨席を賜りました先生方、ご来賓の皆様、修了生を代表して心より御礼申し上げます。

私たちが期待と不安に胸を膨らませながら応用化学科に入学してから六年が経ちました。振り返れば、友人と一緒に取り組んだ授業や実験の日々が思い出されます。二年次からはコロナ禍に直面し、慣れない自宅での専門科目や実験に苦労しましたが、その経験が私たちの成長に繋がったと思います。

学部四年次になると研究室に配属され、授業や実験で知った化学の面白さだけでなく、目的に向かって考えながら研究することの面白さを実感しました。同期と切磋琢磨しながらも実験、分析、発表を行い、共に卒業できた喜びが昨日のように思い出されます。

修士課程では学会発表や論文投稿を通じて、自身の研究

を俯瞰的に理解し、相手に合わせて伝える力を養う貴重な経験を積ませていただきました。その中で先生方や先輩、同期、後輩には大いにお世話になりました。自身が修了に至れたこと、研究を楽しいと思えたこと、研究以外でも楽しい生活を送れたことは、皆さんの支えがあったからこそ、今の自分があると確信しています。

この六年間で私は、「自分一人で物事に取り組むこと」と「周囲の人間と協力すること」の両方がどちらも大切であると感じました。これからの人生でもここで培った経験を大事にし、楽しむ心を忘れず邁進していきたいと思っています。これからそれぞれの道を歩みますが、この応用化学科での学びや経験は必ず未来への糧となると思います。

最後になりますが、心の支えとなった家族や友達、研究室メンバーを含め、今までお世話になりました全ての皆様に感謝申し上げます。そして、皆様のご健康と応用化学科のさらなるご発展を祈念して、答辞といたします。

二〇二五年 三月二十六日

早稲田大学 先進理工学研究科 応用化学専攻

修士二年 岡